

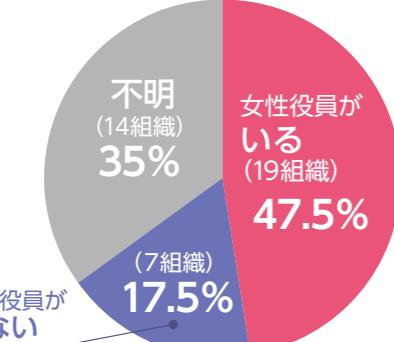
## 2022男女平等参画調査の結果(抜粋)

連合大阪が2022年9～10月に実施した「男女平等参画調査」では、26構成組織(40組織中:回収率65%)、25地域・地区協議会(25組織中:回収率100%)から回答協力を得ました。各組織での女性参画状況と取り組みの一部を紹介します。女性が参画しやすい労働組合の実現に向け、それぞれの組織でも実践につなげていきましょう！

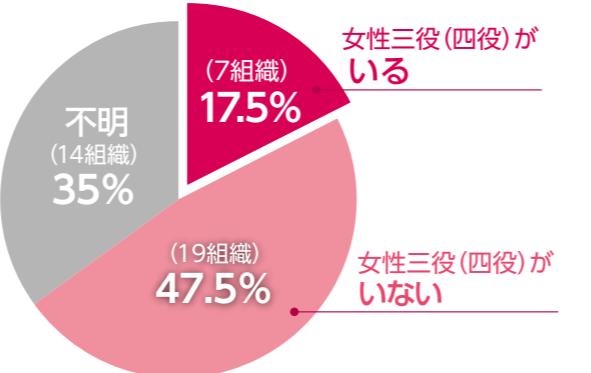
## 機関会議(執行委員会など)での女性役員の有無とその役割

構成組織(地方組織) 全40組織

①構成組織(地方組織)の執行委員会(機関会議)に女性役員がいる組織



②女性が三役(四役)を担っている組織



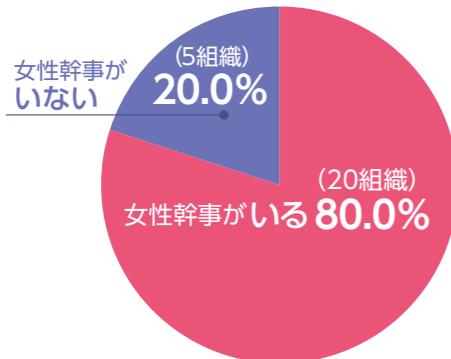
## 女性参画やジェンダー平等へ向けた特徴的な取り組みや成果のあった活動

- 定期大会の代議員の登録の際には、積極的に女性の選出を要請している。
- 女性役員を中心に意見交換の場を作るなどしている。
- 会議への女性の参加は一人ではなく、複数人を参考するようにしている。
- 女性委員会を設置して取り組みを進めている。また、男性役員と女性組合員との意見交換も行った。
- 定期採用者の昇格状況を確認し、男女差がでていないか確認している。
- 女性参画やジェンダー平等をテーマとしたセミナーなどを開き、意識醸成に取り組んでいる。

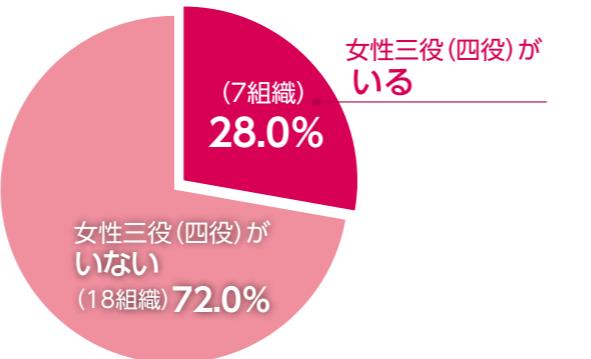
## 地域・地区協議会の女性幹事の有無とその役割

地域・地区協議会 全25組織

①地域・地区協議会に女性幹事がいる組織



②女性が三役(四役)を担っている組織



## 女性参画・ジェンダー平等の取り組みや成果のあった活動

- 組織から選出されている幹事が男性の場合、別途女性を幹事として選出できるよう、規約を改正した。
- 総会などの際に、女性代議員の選出を積極的に呼びかけ、毎回多数の女性が選出されている。
- 参加しやすい懇親イベントを開催し、役員候補となる方の地区活動への理解促進を行っている。
- 定例的にセミナーを開催し、参加者の職場での悩みなど本音で語り合える場を作り好評を得ている。
- 行事での具体的な女性参加数を提案するなど、参加してもらうきっかけ作りに重点を置いている。
- 女性交流会の企画・運営を実行委員会制にして幹事組織から実行委員の選出を行っている。



連合大阪

2023年6月発行 2500部

労働政策・ジェンダー平等推進グループ

〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7 大阪赤十字会館5階

Tel:06-6949-1105 Fax:06-6944-0055 info@rengo-osaka.gr.jp

## ジェンダー平等推進計画

Vol.2

2021年11月～2024年10月

Change 変革  
Challenge 挑戦  
Movement 大きなうねり

# だれもが活躍できる職場づくりを



連

合大阪は、「ジェンダー平等な職場・社会の実現」をめざし、2021年11月から「連合大阪ジェンダー平等推進計画」(～2024年10月)に取り組んでいます。

これは「性別に関わりなく、誰もが働き続けられ、その能力を発揮できる職場」を作っていくことをめざしたもので、また、働く場でのジェンダー平等推進の活動が社会にも広がり、「ジェンダー主流化\*」が実現していく未来をめざします。

この計画の中で新たに位置付けた「行動目標」の一つに「加盟構成組織の組合員の男女比率などの情報を毎年調査・把握する」があります。

連合大阪・構成組織(地方組織)・単組などでの「ジェンダー平等な職場づくり」のためには、まず自組織の状況を把握することが必須です。それぞれの職場の現状から課題を見つけ出し、改善につなげる活動に取り組みましょう！

\*「ジェンダー主流化」1990年代に国連の世界女性会議や人権会議で明記された概念で、政策のあらゆる領域や施策・事業にジェンダーの視点を反映させること。性別に関わらず、ともに参画し、公平公正に利益を享受できるようにしていくことが求められている。

# 連合大阪 ジェンダー平等推進計画の目標

計画期間:2021年11月～2024年10月

## 数値目標

### 連合大阪

- ①執行機関への女性参画率30%以上を確保する。
- ②定期大会・地方委員会では、大会代議員および地方委員会委員の総数に占める女性参画比率を30%以上とする。
- ③大会役員(議長団・資格審査委員会・大会運営委員会・選挙管理委員会)に占める女性参画率を30%以上とする。
- ④都道府県レベルの審議会等委員の女性参画率を30%以上とする。また、その他の公的委員に占める女性比率の増加をめざす。
- ⑤連合大阪が主催する各種集会で、女性組合員比率に見合う女性の参加をめざす。



### 構成組織(地方産別)

- ①執行機関では、組織の女性組合員比率に応じた女性役員を選出する。
- ②大会では、女性組合員比率に応じた女性代議員を選出する。
- ③大会役員には女性委員を複数選出する。

\*構成組織で「ジェンダー平等推進」に関する行動計画や目標などを策定している場合は、自組織の行動計画や目標、取り組み課題などを優先して実践していく。

### 地域・地区協議会

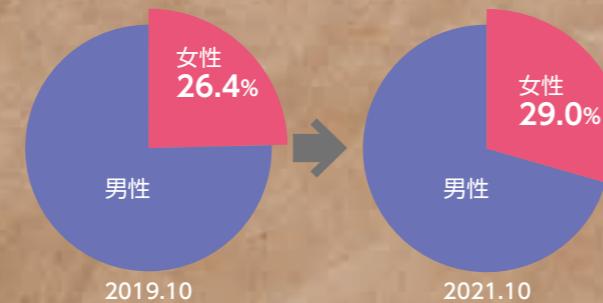
- ①幹事会において、女性幹事が0の組織は、女性幹事を1人選出する。女性幹事が1人の組織は、女性幹事を複数選出する。女性幹事がすでに複数選出されている場合は、女性比率増の取り組みを行う。
- ②定期総会・地域地区委員会での総会代議員・地域地区委員会委員の女性比率の向上をめざす。

## 連合大阪の役員と機関会議の女性参画率を30%以上に

連合大阪執行委員会

	連合大阪 執行委員	連合大阪 女性執行委員	比率
2019年10月	72人	19人	26.4%
2021年10月	69人	20人	29.0%

(会計監査含まず。特別執行委員まで)



## 行動目標

### 連合大阪

- ①加盟構成組織の組合員の男女比率などの情報を毎年調査・把握する。
- ②ジェンダー平等を進めるための各種セミナーを実施する。
- ③ジェンダー平等・女性参画促進の先進的・積極的な活動を行った組織を表彰する。
- ④男女平等推進トップリーダー宣言のフォローアップを行う。
- ⑤SOGI(性的指向・性自認)についての認識を深め、各職場での取り組みにつなげるための学習の機会を設定する。
- ⑥多様な人たちが多様な形態で参加できるよう、連合大阪運動の活動スタイルを点検、見直しする。

### 構成組織(地方産別)

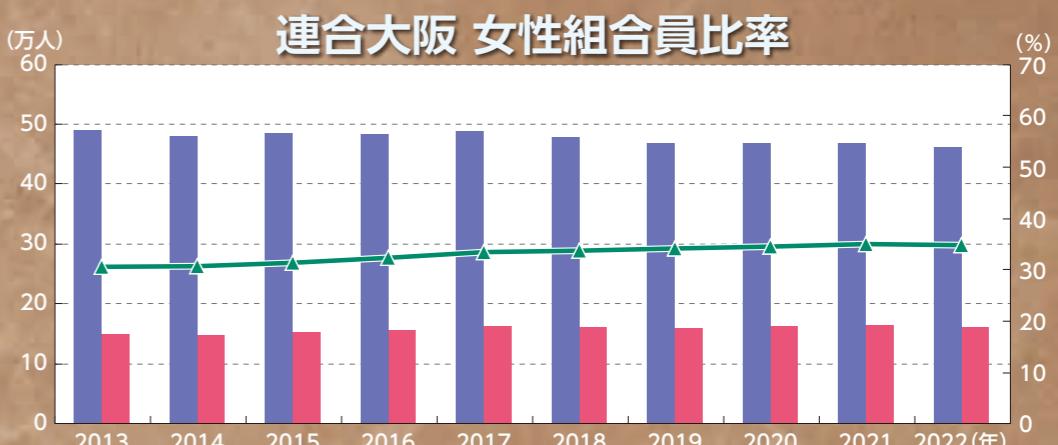
- ①構成組織(地方組織)での組合員の男女比率などの現状を把握する
  - ・把握がもとめられる項目例
    - ・組合員の人数・男女比率(雇用形態別)
    - ・組合役員の人数・男女比率(役職別)
    - ・組合員専従役員の人数・男女比率
    - ・組合員の各種会議の代議員・参加者の男女比率など
- ②各組織での実情や数値目標に合わせた、ジェンダー平等・女性参画推進活動を行う。
- ③各組織でジェンダー平等をテーマとする委員会活動や行事を設定し、女性の声を労働組合活動に反映させる活動を行う。
- ④SOGI(性的指向・性自認)についての認識を深める学習会などを行い、職場・労働組合で差別的取り扱いが行われないよう啓発に取り組む。

各組織での男女比などの実態を知ることはとても大切!組織の実情に合わせて、女性の参加を阻んでいる要因をみつけ、それを取り除くための対策を考えよう。

### 地域・地区協議会

- ①女性組合員が意見交換や情報共有ができる場を設置する。
- ②女性幹事の選出につなげるための人材育成セミナーなどを実施する。

規約やルールの改正も含めた活動を視野に、女性の声が反映された地域・地区活動を実現していく!



	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
組合員総数	491,582	481,675	485,805	484,954	488,926	479,957	469,463	470,106	469,714	462,753
女性数	150,332	147,855	152,397	156,824	163,563	161,893	160,360	162,315	164,513	161,087
女性比率	30.58%	30.70%	31.37%	32.34%	33.45%	33.73%	34.16%	34.53%	35.02%	34.81%

大阪府労働組合基礎調査より